

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	いしかりそらち 石狩空知森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 石狩森林管理署																
完了後経過年数	5年	管理主体	石狩森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置し、石狩振興局管内及び後志総合振興局管内の北部に属する7市5町2村に所在する国有林約212千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約17%にあたる約37千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約7割となっている。今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の森林は、ほぼ全域が水源かん養保安林となっており、札幌市をはじめとした都市圏の水源地として、また、基幹産業である水稲をはじめとする農業の振興や漁場の保全に資する水源涵養の観点で重要な役割を担っている。</p> <p>また、厚田川上流域や美国川、余市川上流域では岩石地等が多く介在していることから、山地保全の役割を果たすことも期待されている。</p> <p>さらに、森林や湖沼、海岸など自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園をはじめ、ニセコ積丹小樽海岸及び暑寒別天売焼尻の2つの国立公園、道立自然公園に指定されている野幌森林公園等があり、藻岩山や円山などの森林については、都市近郊の身近な自然として、その保全や森林とのふれあいに対する期待が高まっているところであり、登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>しかし、支笏洞爺国立公園や野幌森林公園道立自然公園の森林については、平成16年の台風18号により多大な風倒被害を受けたところであり、大部分の処理は終了したものの、森林の有する公益的機能の発揮の観点から、その跡地の早期復旧が求められている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>586 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>13,842 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>12.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.3 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,312,629 千円（税抜き 3,154,885 千円）</p>			森林整備	更新	面積	586 ha		保育	面積	13,842 ha	路網整備	開設	延長	12.4 km		改良	延長	0.3 km
森林整備	更新	面積	586 ha																
	保育	面積	13,842 ha																
路網整備	開設	延長	12.4 km																
	改良	延長	0.3 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したこと等による大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総便益（B） 39,363,883 千円（平成19年度の評価時点：10,796,325 千円※） 総費用（C） 10,562,957 千円（平成19年度の評価時点：2,350,177 千円※） 分析結果（B/C） 3.73 （平成19年度の評価時点：4.59 ※）</p> <p>※平成19年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、水稻、そばなどの畑作物、花き、畜産といった農業が展開されている。また、サケ、ホタテ貝、ニシン等が主要生産魚種となっている水産業も盛んで、近年は、漁業資源の維持・増大を図るため、ヒラメ等のふ化放流やウニ、アワビ等の種苗放流漁業の取組みも進められている。</p> <p>本地域の人口は、札幌市が牽引する形で増加傾向にあるが、年々減少している市町村も多い。そのうち林業就業者数は、平成17年度の494人から平成27年度には518人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p><small>あかいがわ</small> (赤井川村)</p> <p>本村については余市川上流域に位置し、小樽市、余市町、<small>にき</small>仁木町の水源水域であることから、森林の持つ機能を十分に発揮されるような事業が展開されたことは十分に評価できる。</p> <p>また今後も同事業の継続と、森林空間を活用した多面的機能の整備も期待する。</p> <p><small>いしかり</small> (石狩市)</p> <p>市域面積の57%を占める国有林において、森林整備事業が着実に実施されることは、山地災害防止や海域環境の向上など本市に数々の恩恵を与えてきているものと高く評価している。今後も国有林整備事業が適切に実施されること、及び石狩市森林整備推進協定に基づき民有林と国有林との共同施業が推進されることを期待する。</p>

^{えにわ}
(恵庭市)

市内の森林のうち国有林の占める割合が高い本市において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。

今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

^{えべつ}
(江別市)

道立野幌森林公園は、江別市の総面積の約10%を占める広大な森林であり、市民の憩いの場ともなっていることから、森林整備が適切に実施されたことは、多面的機能の維持、増進につながったと十分に評価できる。

また、今年度は、台風21号が北海道を襲い、同公園においても風倒木等の被害が発生していることから、同事業継続による国有林の整備を要望する。

(小樽市)

本市域内における森林整備事業及び路網整備事業により、森林の有する多面的機能の維持、促進が図られたものと評価いたします。

今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう、各事業を積極的に推進するよう要望いたします。

^{きたひろしま}
(北広島市)

地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。

また、当市においては国有林を森林散策などのレクリエーションの場としても多くの人々が利用しているため、今後も保健・文化・教育の場として、森林空間を活かした総合的な整備を期待する。

(札幌市)

適切な森林整備事業の実施により、健全な森林が維持され、水源涵養等森林の持つ公益的機能の発揮が図られているものと認識しています。

今後とも、公益的機能の維持増進に向けた取組を継続されるよう要望します。

(積丹町)

本町の面積の約6割を占める国有林における森林環境保全整備事業の実施は、特に沿岸漁業を基幹産業とする当町にとって町民の関心も高く、水源涵養機能をはじめとした森林の持つ多面的機能の発揮を目指す『多様で健全な森林づくり』への期待が高いと評価している。

また、町有林等民有林と連携した先進的な森林づくりの新たな展開による効率的な森林施業や、森林資源の多様な有効活用には、国有林の先進的・指導的な役割は極めて大きなものとなっている。

今後も同事業の継続した安定的、計画的な拡充実施を要望する。

^{しんしのつ}
(新篠津村)

基幹産業が農業である本村において、防風保安林として大きな割合を占める国有林に対して、森林整備が着実に実施されたことは十分評価できるものである。

今後も、森林の有する多面的機能が最大限発揮できるよう、適切な森林整備の実施を期待する。

^{ちとせ}
(千歳市)

千歳市の支笏湖周辺の国有林は、国定公園指定の支笏洞爺国立公園であり、国内外からの観光客が訪れる観光名所である。

また、水源涵養をはじめ、地球温暖化防止、生物多様性の保全、登山など多面的機能を有しているが、平成16年の大型台風により多くの風倒木被害を受けたことから、森林環境保全整備事業により、森林の有する機能回復に向かっていることが十分評価できるものである。

今後も、森林整備事業を継続し、森林の有する機能の早期回復を要望する。

^{とうべつ}
(当別町)

当該地区の森林が持つ水源涵養機能の維持増進に効果が得られたものと評価する。今後は国有林と併せて、町内における官行造林地の整備推進を要望する。

	<p>(仁木町)</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・増進が図られ、森林環境の保全に資したものと評価します。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、森林の有する多面的機能の継続的な発揮や、木材価格の低迷・後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待します。</p> <p>(古平町)</p> <p>町内森林のうち国有林の割合が高く基幹産業が漁業である本町において、森林整備事業が適切に実施されたことにより、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。</p> <p>今後も、本町水源地の上流部にある国有林の良好な形成や、漁場の保全に対して効果が見込まれるため、同事業の継続を期待する。</p> <p>(余市町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後も、国有林の整備により、森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、都市圏の水源地として、また、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能の高度発揮が求められている。更に、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業や漁業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	いしかりそらち 石狩空知森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 そらち 空知森林管理署																
完了後経過年数	5年		管 理 主 体	空知森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部よりやや西寄りに位置し、空知総合振興局管内に属する6市5町に所在する国有林約166千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約27%にあたる約46千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっている。今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域は、夕張岳、芦別岳を主峰として、空知川、幾春別川、夕張川等の集水域となっている山地で、桂沢湖、シューパロ湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林は、その水源地として水源涵養の役割を果たすことが期待されている。</p> <p>また、森林や湖沼など自然美に富んだ景勝地が多く、富良野芦別道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策などのレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本地域の産業としては、水稻をはじめとする農業が地域の基幹産業となっており、これらの繁栄に繋がる適切な森林の管理経営が求められている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>36 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>12,876 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>28.1 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.7 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 4,080,752 千円（税抜き 3,886,431 千円）</p>				森林整備	更新	面積	36 ha		保育	面積	12,876 ha	路網整備	開設	延長	28.1 km		改良	延長	0.7 km
森林整備	更新	面積	36 ha																	
	保育	面積	12,876 ha																	
路網整備	開設	延長	28.1 km																	
	改良	延長	0.7 km																	
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 60,125,260 千円（平成19年度の評価時点： 8,487,438 千円※） 総 費 用（C） 12,177,834 千円（平成19年度の評価時点： 847,919 千円※） 分析結果（B/C） 4.94 （平成19年度の評価時点： 10.01 ※）</p> <p>※平成19年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																			
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によつての森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によつて林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>																			

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、水稲、そばなどの畑作物、花き、畜産といった農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の342人から平成27年度には274人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(赤平市)</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。</p> <p>今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。</p> <p>(芦別市)</p> <p>当市の森林面積のうち、91%を占める国有林において適切な森林整備事業が実施されましたことは十分に評価できるものと考えます。</p> <p>当市の国有林は奥地にあることから、近年発生している異常気象の大雨等による森林被害によって、下流域への悪影響が生じないよう今後も継続して適切な森林整備を実施していただき、森林の持つ公益的機能が最大限発揮されることを期待いたします。</p> <p>当市の国有林には、国内希少野生動植物種に指定されている固有種の「キリギシソウ」をはじめとする希少植物が自生する「<small>まりぎしやま</small> 嵯山」があります。</p> <p>過去の希少植物の大量窃盗により入山規制等の保護活動を行い、徐々に植生が回復しつつあります。回復度の植生調査や自然環境保護の大切さを認識してもらうモニター登山会を実施していますが、国有林内の林道の損壊等によりその保護活動が出来ないことが考えられることから、「嵯山」周辺の森林における路網整備を含む森林整備の重点的な実施を要望いたします。</p>

くりやま
(栗山町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。

また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。

いわみざわ
(岩見沢市)

森林環境保全整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。

また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれることから、今後とも同事業の継続を期待します。

さらに国有林は水源涵養機能などを有していることから、引き続き機能の継続が図られるよう適切な森林整備をこれまでに増して、一層の整備推進を要望いたします。

つきがた
(月形町)

地球温暖化防止を目的とした森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できます。

その他、月形スギ保護林について、これまで「植物群落保護林（現在、希少個体群保護林）」として大切に管理されてきましたが、平成30年に月形権戸博物館（旧権戸集治監）が北海道遺産に登録されたことに伴い、スギ林についても、これまで以上に注目を浴びることとなり、町としてもスギ林周辺景観整備を行う予定であります。

今後においては、将来に渡りこのスギ林を維持していくために必要となる施業（間伐等）を要望するとともに、間伐材については、町の観光・文化資源として町で活用できるよう特段の配慮を要望します。

ながいぬま
(長沼町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、近年の異常気象等により、国土保全の役割を担う防風林の森林被害も発生してきており、機能の発揮のための継続した森林整備の実態継続を要望する。

なんぼろ
(南幌町)

近年の異常気象等により、国土保全の役割を担う防風林の森林被害も発生してきており、機能の発揮のための継続した森林整備の実態継続を要望する。

びばい
(美唄市)

国有林は市の水源地の上流部にあり、森林整備事業が実施されたことにより森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価します。

今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者の手本となるような森林管理をお願いします。また、耕地防風保安林整備事業につきましても近年の異常気象等により防風林の森林被害も発生してきており機能発揮のための継続した森林整備の実施を要望します。

ゆうばり
(夕張市)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待します。

その他、農林業被害が問題となる中、獣害防止対策（エゾシカ）に向けた施策推進や実行に係わる予算措置の検討を期待します。

みかさ
(三笠市)

市内の森林のうち国有林の占める割合が高い当市において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。

また、治水・周辺市町への上水機能を有する桂沢ダムを有する本市において森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮が重要となるため、今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。

ゆに
(由仁町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られていますが、近年の異常気象等により、国土保全の役割を担う森林被害も発生していることから、機能発揮のため適切な管理を期待します。

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域である。更に、山地保全や地球温暖化防止のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	<small>かみかわほくぶ</small> 上川北部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署																	
完了後経過年数	5年	管理主体	上川北部森林管理署																	
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部よりやや北の内陸部に位置し、上川総合振興局管内北部の2市3町に所在する国有林約164千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約21%にあたる約35千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっている。今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>これらの森林については、大部分が水源かん養保安林となっており、<small>いわおない</small>岩尾内湖をはじめ、多くの飲料用、農業用水等の貯水施設があることから、上流部にある国有林は地域の水源地としてのほか、基幹産業である稲作・畑作・酪農等の農業の振興に資する観点で重要な役割を担っている。</p> <p>さらに、この地域は、林業・木材産業が農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところであり、森林認証の取得等の取組みがなされているなど、国有林に対する期待も高く、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、<small>てしお</small>天塩山地を中心とする北部地域は特に、地滑りや崩壊地等も見られ、脆弱な地質が分布していることから、土砂の流出等を防ぐ山地保全の役割も重視した適切な森林の管理経営を求められている。</p> <p>一方、優れた山岳景観を有し道立自然公園となっている天塩岳のほか、ピヤシリスキー場などがあり、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容： <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>203 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>11,787 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>10.4 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>1.2 km</td> </tr> </table> ・総事業費 2,053,955 千円（税抜き 1,956,148 千円） 				森林整備	更新	面積	203 ha		保育	面積	11,787 ha	路網整備	開設	延長	10.4 km		改良	延長	1.2 km
森林整備	更新	面積	203 ha																	
	保育	面積	11,787 ha																	
路網整備	開設	延長	10.4 km																	
	改良	延長	1.2 km																	
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総便益（B） 50,015,026 千円（平成19年度の評価時点：16,223,022 千円※） 総費用（C） 7,641,091 千円（平成19年度の評価時点：1,256,327 千円※） 分析結果（B/C） 6.55 （平成19年度の評価時点：12.91 ※）</p> <p>※平成19年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																			

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養^{かん}や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業体に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、稲作・畑作、酪農を中心とした農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にある中で、そのうち林業就業者数は、平成17年度の260人から平成27年度には330人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(士別市)</p> <p>本市における国有林は、北海道第2の河川である天塩川上流域の大部分を占めており、森林整備事業の実施による水源涵養機能の向上が図られたことは評価します。</p> <p>また、本市の国有林には天塩岳道立自然公園や、耕作地の大規模な防風保安林もあり、今後も森林の持つ多面的機能の充実に向け積極的な事業の実施を要望します。</p> <p>(下川町)</p> <p>町内の森林面積の内、国有林の占める割合が8割を超える本町において、共同施業団地内を含め、間伐を主体とした森林整備事業が着実に実施されたことにより、地球温暖化防止や生物多様性の保全等に寄与したことは高く評価できる。</p> <p>今後は、地域へのシステム販売の拡大及びバイオマス原料供給の観点を含め、同事業の継続を要望する。</p>

	<p>なかがわ (中川町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。特に、中川地域森林整備推進協定に基づく森林整備の推進や上川北部森林管理署と中川町が共同運営するストックヤードによる地域への波及効果は大きく、今後も引き続き、同次長の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>なよろ (名寄市)</p> <p>当市風連日新地区水源地上流部にある国有林において、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と良好な森林の形成がなされたことは、高く評価できる。</p> <p>また、名寄地区のピヤシリ自然休養林及び風連地区の防風保安林については、保健・レクリエーション機能及び防災機能の発揮と併せて計画的な森林整備を期待する。</p> <p>わつさむ (和寒町)</p> <p>国有林は町の水源地上流部に位置しており、森林整備事業の実施により、水源涵養機能などの森林の持つ多面的機能の発揮と良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も引き続き適切な森林整備の実施を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地として、また、地域の基幹産業である農業の振興に資する観点で重要であることから、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。更には、山地保全や地球温暖化防止対策、木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成20年度～平成24年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	しりべしいぶり 後志胆振森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 後志森林管理署																
完了後経過年数	5年	管 理 主 体	後志森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央からやや南西部に位置し、後志総合振興局管内中南部と胆振総合振興局管内西部に属する3市12町5村に所在する国有林約130千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約13%にあたる約16千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約7割近くとなっている。今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の森林の大部分が水源かん養保安林となっており、地域の水源地として、また、野菜、果樹、水稲、畜産などの農業や沿岸漁業が盛んな日本海の漁場の保全等に資する観点から水源涵養の役割を果たすことが求められている。</p> <p>また、急峻な地形が多いほか、有珠山といった火山の周辺の森林は、火山灰が厚く堆積して泥流等の発生する危険度が高く、森林による泥流緩衝効果や土砂の流出等を防ぐ山地保全の役割を担うことも重要となっている。</p> <p>また、火山や湖沼、森林、海岸などの自然美に富んだ景勝地が多く、支笏洞爺国立公園、ニセコ積丹小樽海岸国定公園及び狩場茂津多道立自然公園に指定されていること等から、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されており、さらに、北限地帯のブナ林、大平山の石灰岩植生等の貴重な自然環境を有している。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>10 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>3,749 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>8.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.5 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,354,099 千円（税抜き 1,289,619 千円）</p>			森林整備	更新	面積	10 ha		保育	面積	3,749 ha	路網整備	開設	延長	8.5 km		改良	延長	0.5 km
森林整備	更新	面積	10 ha																
	保育	面積	3,749 ha																
路網整備	開設	延長	8.5 km																
	改良	延長	0.5 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 14,263,215 千円（平成19年度の評価時点： 1,568,505 千円※）</p> <p>総 費 用（C） 3,433,814 千円（平成19年度の評価時点： 232,038 千円※）</p> <p>分析結果（B/C） 4.15 （平成19年度の評価時点： 6.76 ※）</p> <p>※平成19年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>																		

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、野菜、果樹、水稲、畜産といった農業が展開されている。また、水産業も盛んで、近年は、漁業資源の維持・造成を図るため、ウニ等の種苗放流やサケ・マス等のふ化放流が行われている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数は、平成17年度の246人から平成27年度には281人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(岩内町)</p> <p>森林環境保全事業の実施により、水源涵養や地球温暖化防止など森林の有する多面的機能の維持・発揮がされたと評価できる。</p> <p>森林の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるよう、同事業の継続を要望する。</p> <p>(神恵内村)</p> <p>森林整備事業の実施により、水源涵養など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(喜茂別町)</p> <p>喜茂別町は、尻別川および喜茂別川に面しており、それぞれの河川の源流に国有林が位置しています。</p> <p>その国有林において、間伐や除伐、更新などの森林整備が行われることにより、森林の持つ多面的な機能の発揮と、良好な森林が形成され、山の保水機能を保つことにより、下流域への災害も未然に防ぐことができるものと考えており、事業は高く評価できます。</p> <p>そのため、今後も適切な森林整備と森林管理の見本となるような事業の実施を要望します。</p>

きょうごく
(京 極町)

森林整備事業の実施により、森林が有する水源涵養機能等、多面的機能の維持・促進が図られたものと評価しております。

今後も適切な国有林整備の実施等、事業の継続による適切な森林の維持管理を要望します。

きょうわ
(共 和町)

本町の森林面積のうち約半分を占める国有林において、森林整備の着実な実施により森林の持つ機能が発揮されたと評価する。

近年は、各地で豪雨等により山地災害も発生しており、森林の公益的機能維持確保の観点からも、適切な森林管理の継続・推進を要望する。

くつちあん
(倶知安町)

下刈を主体として森林整備が実施されたことにより、森林が育成し森林の持つ多面的機能の促進が図られたものと評価する。

今後も適切な森林整備の実施のため、同事業の継続を要望する。

くろまつない
(黒松内町)

森林整備事業の実施により、森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。本町では、特に朱太川水系全体の水質維持のための水源涵養機能について期待している。

今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。

しままき
(島 牧村)

村内の森林のうち国有林の占める割合が高い本村において、森林整備による山地保全機能や水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。

今後についても国有林の整備事業を要望する。

すつづ
(寿都町)

当町の森林においては、国有林、道有林、一般民有林の面積比率が概ね3割ずつ所管しており、いずれの所管においても管理を怠ることによって、森林の有する多面的機能の維持・促進が十分に発揮されない可能性がある。

また、町内の多くが海岸に面しており、水産業を基幹産業とする当町にとっては、森・川・海のつながりは非常に重要であり、海への森林からの栄養供給は必要不可欠なものである。

その中で、国有林において森林整備が計画的に実施されるとともに、整備にあたって重要な林内路網の計画的配置や維持管理等により、地域の森林の有する多面的機能を継続的に発揮できるように、森林整備等が計画的に実施されたことは非常に評価できるものである。

今後も林業行政の中心として、より積極的な森林整備の実施や地域とより連携した取組みを実施していただくことにより、地域林業の活性化と森林の持つ多面的機能の発揮に向け、同事業の継続と国有林の継続的施業の実施を強く要望いたします。

そうべつ
(壮 瞥町)

健全な森林資源の維持を推進し、自然環境等の多面的機能を高める整備が行われたことは十分に評価できるものである。

今後も自然環境の変化も考慮しつつ、適正な森林の保全及び造成を期待する。

だて
(伊達市)

国有林が市内森林総面積の半分以上を占める本市において、水源涵養林など森林の持つ多面的機能の維持を目的とした森林整備が実施されたことは十分に評価できるものである。

今後も、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう事業の継続を要望する。

どうやこ
(洞爺湖町)

森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたと評価するが、洞爺湖町内における事業量が少ないので、今後は、同事業の継続と、町内の国有林整備を期待する。

とまり
(泊 村)

村内森林のうち国有林の占める面積が広い当村で、森林整備が着実に行われていると評価できる。

今後も小規模自治体である当村では十分な森林整備を行うことができないため、適切な森林整備と事業の継続を希望する。

	<p>とようら (豊浦町) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価する。引き続き国有林の適切な森林整備の実施と事業の継続を希望する。</p> <p>のぼりべつ (登別市) 市内の森林のうち国有林の占める割合が高い本市において、森林整備の実施により、森林の持つ多面的機能の発揮及び良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>むらん (室蘭市) 森林整備事業の実施により適切な森林の管理や水源涵養機能など森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。今後も同事業を継続するとともに、地域が取り組む森林整備についても助言・指導をお願いしたいと考えます。</p> <p>るすつ (留寿都村) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能などの森林の持つ多面的機能の発揮を期待している。また、本村ではスキー場のコースとして一部使用しており、森林レクリエーションの場として多くの人々に利用され十分に評価できる。</p> <p>今後も、事業の継続と国有林の整備を希望します。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、地域の水源地として、また、地域の基幹産業である農業や沿岸漁業が盛んな日本海の漁場の保全等に資する観点から、水源涵養の役割を果たすことが期待されている。 また、火山や急峻な地形が多いことから、山地保全の役割が求められている地域であり、地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業や漁業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	かみかわなんぶ 上川南部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 かみかわちゆうぶ 上川中部森林管理署																
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	上川中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央の内陸部に位置し、上川総合振興局管内南部の1市7町に所在する国有林約160千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約18%にあたる約27千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約7割となっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域は、石狩川水系の源流域及び中流域に位置し、森林の多くは水源かん養保安林に指定されており、流域内のみならず下流域である道央地域の水源として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で重要な役割を担っている。</p> <p>さらに、層雲峡地区、十勝岳地区等は、それぞれ土石流災害、火山泥流災害の危険地域となっており、森林による泥流緩衝効果も含め、山地保全の役割を果たすことが期待されている。</p> <p>林業・木材産業は、地域の豊富な木材資源を背景として、農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところである。特に中核都市である旭川市は、木製品・パルプ等の木材加工業が発達しており、道北地域の木材産業の拠点となっている。今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、石狩川源流部の森林は、多くが大雪山国立公園や大雪山忠別川源流部森林生態保護地域等の保護林の指定地域であるとともに、高山地帯は国の特別史跡名勝天然記念物の指定地であり、周辺の森林と併せ、野生生物の生息域としての役割が大きく、同時に登山等森林レクリエーションを目的とした利用者も多い。また、石狩川中流域の旭川市及び周辺には嵐山・神居自然休養林、外国樹種見本林等、市民の森林レクリエーション・保健休養に利用される区域が所在している地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>64 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>7,926 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>18.8 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>1.0 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,846,297 千円（税抜き 1,758,379 千円）</p>			森林整備	更新	面積	64 ha		保育	面積	7,926 ha	路網整備	開設	延長	18.8 km		改良	延長	1.0 km
森林整備	更新	面積	64 ha																
	保育	面積	7,926 ha																
路網整備	開設	延長	18.8 km																
	改良	延長	1.0 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益 (B) 29,963,380 千円（平成20年度の評価時点： 2,572,795 千円※）</p> <p>総 費 用 (C) 3,832,350 千円（平成20年度の評価時点： 281,339 千円※）</p> <p>分析結果 (B/C) 7.82 （平成20年度の評価時点： 9.14 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養^{かん}や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、稲作を中心として、畑作、酪農等の農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にある中、そのうち林業就業者数は、平成17年度の353人から平成27年度には519人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(愛別町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、国有林は町の水源地上流部にあり、間伐を主体として森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。</p> <p>今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p>(旭川市)</p> <p>森林環境保全整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価いたします。</p> <p>また、同事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後も同事業の継続を期待します。</p> <p>(上川町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p>

	<p>たかす (鷹栖町) 森林整備事業の実施により、水源涵養機能などの森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価できる。今後も同事業の継続、適切な森林整備の実施をお願いしたい。</p> <p>びえい (美瑛町) 森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、引き続き同事業の継続を期待するとともに適切な森林整備の実施により、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いしたい。</p> <p>ひがしかわ (東川町) 森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。</p> <p>びつぷ (比布町) 森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に配慮した施業実施が求められている地域である。 また、火山や急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策、広葉樹を含む木材の安定供給との有効活用のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。 ・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。 また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																					
事業実施地区名 （都道府県名）	かみかわなんぶ 上川南部森林計画区 （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 上川南部森林管理署																					
完了後経過年数	4年		管 理 主 体	上川南部森林管理署																					
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央の内陸部に位置し、上川総合振興局管内南部の1市2町1村に所在する国有林約115千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約21%にあたる約25千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域の森林には、鷓川の源流部も位置しており、流域内のみならず、下流域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で水源涵養の役割を果たすことが求められている。</p> <p>また、十勝岳をはじめとする道内有数の火山地帯であり、大正15年の十勝岳火山泥流災害をはじめ数次の火山災害が発生しており、森林による泥流緩衝効果も期待されることから、山地保全の役割が強く求められる地域ともなっている。</p> <p>林業・木材産業は、地域の豊富な木材資源を背景として、農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところである。今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、大雪山系、夕張山地を中心として優れた山岳景観を有し、大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園が指定されており、山岳、温泉等の観光資源に恵まれていることから、道内外から多くの観光客が訪れている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新</td> <td style="width: 10%;">面積</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">30 ha</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td style="text-align: right;">6,062 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td style="text-align: right;">13.6 km</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td style="text-align: right;">2.3 km</td> <td></td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,107,067 千円（税抜き 2,006,731 千円）</p>					森林整備	更新	面積	30 ha			保育	面積	6,062 ha		路網整備	開設	延長	13.6 km			改良	延長	2.3 km	
森林整備	更新	面積	30 ha																						
	保育	面積	6,062 ha																						
路網整備	開設	延長	13.6 km																						
	改良	延長	2.3 km																						
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 25,570,746 千円（平成20年度の評価時点：5,016,319 千円※） 総 費 用（C） 4,873,025 千円（平成20年度の評価時点：599,832 千円※） 分析結果（B/C） 5.25 （平成20年度の評価時点：8.36 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																								
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社</p>																								

	会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、稲作を中心として、畑作、酪農等の農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の220人から平成27年度には122人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(上富良野町^{かみふらの})</p> <p>本町に位置する十勝岳は道内有数の活火山であり、数次に亘り泥流等の火山災害が発生していることから、今後も、国有林が持つ山地災害防止機能等の多面的機能の持続的な発揮のため、事業の継続を要望する。</p> <p>(占冠村^{しむかづぶ})</p> <p>村内の森林のうち国有林の占める割合が高い本村において、森林整備が着実に実施されたことは十分評価できるものであり、同事業の継続と国有林の整備を要望します。</p> <p>また、民有林事業者等の見本となるよう今後も森林管理をお願いいたします。</p> <p>(富良野市^{ふらの})</p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。</p> <p>また、今後も森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう継続的な森林整備の実施をお願いするとともに、保健・文化・教育的な利用の場の提供を期待する。</p> <p>(南富良野町^{みなみふらの})</p> <p>国有林の占める割合が約9割である本町において、国有林の森林整備が着実に実施され、水源のかん養機能など森林の持つ多面的機能の発揮を期待しています。そのような中で本町が策定した南富良野町森林・林業マスタープランの目的達成や絶滅危惧種である「イトウ」の保全に常日頃から協力頂いている本事業は、適正に執行され健全な森林として成林していることから十分に評価できるものであると考えます。</p> <p>今後も、本事業の継続と着実な整備を行っていただき、森林の持つ多面的機能の高度発揮と民有林事業者等の見本となるような森林管理をよろしくお願い致します。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <p>本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に配慮した施業実施が求められている地域である。</p> <p>また、火山や急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策、木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> ・ 効率性 <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> ・ 有効性 <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	あばしりせいぶ 網走西部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署																
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	網走西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央からやや北の内陸部に位置し、オホーツク総合振興局管内北西部の2町に所在する国有林約106千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約28%にあたる約30千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約7割となっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>大部分の森林は水源かん養保安林に指定されており、湧別川等河川の源流部や武利ダムの集水域、芭露や清里、金山西部の水源地周辺の森林となっていることから、地域の水源として、生活用水の供給源となるとともに、基幹産業である農業及び水産業の振興に資するなど重要な役割を担っている。また、山地災害危険地区（地すべり危険地区）に指定されている区域もあり、山地保全の役割を果たすことが求められている。</p> <p>従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達してきたところであり、近年は、森林認証の取得を拡大し、森林の整備、加工流通体制の整備等を進めるとともに、オホーツクブランド材の普及に向けた取組も行われていることから、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、網走国定公園のほか、丸瀬布温泉等の温泉施設、十三の滝、山彦の滝等豊かな森林景観と豊富な観光資源に恵まれている地域があることから、登山や森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>33 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>5,553 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>7.7 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>0.6 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,202,273 千円（税抜き 3,049,784 千円）</p>			森林整備	更新	面積	33 ha		保育	面積	5,553 ha	路網整備	開設	延長	7.7 km		改良	延長	0.6 km
森林整備	更新	面積	33 ha																
	保育	面積	5,553 ha																
路網整備	開設	延長	7.7 km																
	改良	延長	0.6 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 17,924,210 千円（平成20年度の評価時点：8,908,025 千円※） 総 費 用（C） 6,878,964 千円（平成20年度の評価時点：1,891,246 千円※） 分析結果（B/C） 2.61 （平成20年度の評価時点：4.71 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p>																		

	<ul style="list-style-type: none"> ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、寒冷地畑作及び酪農を主体とした農業が展開されている。また、沿岸域では、沖合底引き網、ホタテ貝及びサケ定置網を中心とした漁業と、湖沼を利用した養殖漁業が盛んである。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の270人から平成27年度には203人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(遠軽町)</p> <p>遠軽町は国有林が町全面積の7割以上を占めており、本町の産業にも影響が大きく、森林の有する多面的な機能の発揮と良好な森林が造成され、適切な森林整備が実施されたことは高く評価しております。</p> <p>今後も水源地周辺地域をはじめとした森林機能の維持・推進とともに、木材の安定的な供給が図られることを期待いたします。</p> <p>本町では、町全域を「白滝ジオパーク」として認定されており、国有林においても保健・文化・教育の場としての機能も期待しているところであり、今後においても国有林の総合的な整備を進めて頂けますよう、お願い申し上げます。</p> <p>(湧別町)</p> <p>本町の国有林はサロマ湖及び芭露川水系などの河川上流部に所在しており、森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能の発揮と良好な森林が造成されたことは評価出来る。</p> <p>特に水源涵養機能は本町の基幹産業にも影響が大きいことから、今後についても適切な国有林の整備を要望したい。</p>
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <p>・ 必要性</p> <p>本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業及び沿岸部や湖沼を利用した漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、山地保全や地球温暖化防止対策、木材の安定供給、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> <p>・ 効率性</p> <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>・ 有効性</p> <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業や漁業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>
-------------	--

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	あばしりせいぶ 網走西部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署 <small>にしもんべつ</small> 西紋別支署																
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	網走西部森林管理署西紋別支署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央からやや北の内陸部に位置し、オホーツク総合振興局管内北西部の1市1町に所在する国有林約84千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約28%にあたる約24千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約7割となっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>ムジナの沢等の<small>たきのうえ</small>滝 上市街の水道水源地周辺、<small>こうのまい こうき おおにしさわ かみしよこつ</small>鴻之舞や鴻輝・大西沢の上渚滑市街の水源地周辺の森林、<small>たきにし たきおく たつうし かみこたんべつ</small>滝西・滝奥の中央部、立牛川や上古丹別川等の源流域等、この地域の大半の森林は、水源涵養や山地保全の役割の発揮が期待されている。</p> <p>従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達してきたところであり、近年は、森林認証の取得を拡大し、森林の整備、加工流通体制の整備等を進めるとともに、オホーツクブランド材の普及に向けた取組も行われていることから、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、網走国定公園のほか、優れた山岳景観を有し道立自然公園に指定されている天塩岳などがあり、さらには、滝上渓谷等豊かな森林景観と豊富な観光資源に恵まれている地域があることから、登山や森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>30 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>4,994 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>9.5 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>1.3 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,522,651 千円（税抜き 2,402,525 千円）</p>			森林整備	更新	面積	30 ha		保育	面積	4,994 ha	路網整備	開設	延長	9.5 km		改良	延長	1.3 km
森林整備	更新	面積	30 ha																
	保育	面積	4,994 ha																
路網整備	開設	延長	9.5 km																
	改良	延長	1.3 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 16,415,923 千円（平成20年度の評価時点：7,959,313 千円※）</p> <p>総 費 用（C） 4,937,793 千円（平成20年度の評価時点：722,721 千円※）</p> <p>分析結果（B/C） 3.32 （平成20年度の評価時点：11.01 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・林業事業体に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</p>																		

<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、大規模な草地型酪農等の農業が展開されている。また、沿岸域では、沖合底引き網、ホタテ貝及びサケ定置網を中心とした漁業と、湖沼を利用した養殖漁業が盛んである。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中で、そのうち林業就業者数は、平成17年度の310人から平成27年度には316人に微増しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(滝上町)</p> <p>間伐を主体とした森林整備が着実に実施されたことにより、地球温暖化の防止や生物多様性の保全、水源涵養機能及び山地災害の防止効果も高まり、森林の持つ公益的機能が発揮されたと評価します。</p> <p>国有林の占める割合が高い本町において、本事業は木材の安定供給や民間事業者の育成に対しても効果があったと見込まれることから、今後も適切な森林整備を実施し良好な森林の形成をお願いすると共に、民有林事業者等の見本となるような森林整備及び森林管理をお願いいたします。</p> <p>(紋別市)</p> <p>当市の水源となっている渚滑川上流には国有林が所在しており、間伐等を主体とした森林整備が実施されたことにより、水源涵養機能の増進が図られていると考える。</p> <p>また当地域の国有林はSGEC森林認証を取得しており、森林の持続的な利用及び環境に配慮した施業が行われていると考えている。</p> <p>今後も地域民有林事業者の見本となるよう、林地残材等の有効活用なども含め、引き続き国有林の継続的な森林整備・管理をお願いします。</p>
<p>森林管理局事業評価技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>

<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="491 152 1415 331"> <p>・ 必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業及び沿岸部や湖沼を利用した漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、山地保全や地球温暖化防止対策、木材の安定供給、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> <li data-bbox="491 338 1415 517"> <p>・ 効率性 事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <li data-bbox="491 524 1415 703"> <p>・ 有効性 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業や漁業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>
-------------	---

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	とがち 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 とがちとうぶ 十勝東部森林管理署																
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	十勝東部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南東部に位置し、十勝総合振興局管内に属する3町に所在する国有林約128千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約22%にあたる約28千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割となっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域は、本計画区の北東部に位置し、中央を利別川が南流し十勝川に合流する。利別川流域には、河川沿いに陸別町、足寄町、本別町、池田町の市街地と畑作地帯が広がっており、支流には、水力発電用のダムがある。また、国有林内には集落地の簡易水道用としての水源が各所に介在していることから、利別川並びに利別川の支流である足寄川、斗満川及び美利別川流域等の上流部の国有林は、水源涵養機能の発揮も期待されている。</p> <p>この地域は民有林も含め道内の主要な木材生産地帯であり、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されているほか、本別川流域の国有林は、本別市街地に対する山地保全の役割を發揮させることも期待されている。</p> <p>一方、阿寒摩周国立公園に指定された国有林は、山岳、溪谷、森林景観、温泉等の観光資源に恵まれていることから、道東地方西部における観光地、登山やスキーなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として活用されている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の發揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>249 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>7,899 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>16.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>1.3 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 3,334,165 千円（税抜き 3,175,396 千円）</p>			森林整備	更新	面積	249 ha		保育	面積	7,899 ha	路網整備	開設	延長	16.9 km		改良	延長	1.3 km
森林整備	更新	面積	249 ha																
	保育	面積	7,899 ha																
路網整備	開設	延長	16.9 km																
	改良	延長	1.3 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 22,772,377 千円（平成20年度の評価時点：8,594,750 千円※） 総 費 用（C） 7,101,588 千円（平成20年度の評価時点：1,100,231 千円※） 分析結果（B/C） 3.21 （平成20年度の評価時点：7.81 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		

② 事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、広大な十勝平野において、麦類、豆類、馬鈴薯、甜菜等の畑作や乳牛、肉用牛の飼育が行われている酪農といった農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の561人から平成27年度には407人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高い上に、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(足寄町)</p> <p>森林環境保全整備事業の実施により、町内造林業者の育成及び雇用の確保に繋がっているものと評価しています。</p> <p>今後においても、当該事業の着実な推進により、町内での雇用が確保され、人口減少防止の一助となるよう、継続的な事業の執行を期待します。</p> <p>(本別町)</p> <p>森林整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価します。</p> <p>今後も、森林の有する多面的機能が発揮されるよう同事業の継続と、林業事業者の育成、労働者の確保の推進を期待します。</p> <p>(陸別町)</p> <p>町内の森林のうち国有林が占める割合が高い本町において、森林整備が適切に実施されたことにより、森林の持つ多面的機能の維持、促進が図られたと評価します。</p> <p>また、地域林業の維持、発展のため、新たな施業技術の推進、林業事業者の育成について引き続き支援願います。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <p>本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に配慮した施業実施が求められている地域である。</p> <p>また、火山や急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策や木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> ・ 効率性 <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> ・ 有効性 <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	とがち 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 とがちせいぶ 十勝西部森林管理署
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南東部に位置し、十勝総合振興局管内に属する1市5町2村に所在する国有林約140千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約11%にあたる約16千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域は本計画区の南西部に位置し、我が国を代表する清流である歴舟川、札内川等の中流部から上流部に国有林は位置している。日高山脈は、急峻な地形が多く、上部から稜線に至る地域に所在する国定公園や日高山脈森林生態系保護地域より下部の区域は、土砂の流出崩壊等の被害を防止のための山地保全の役割の発揮を第一とすることが期待されている。</p> <p>さらに、この地域は民有林も含め道内の主要な木材生産地帯であり、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>また、各種用水の確保を目的とするダムの周辺及び上流の国有林は、水源涵養の役割を担うことが期待されている。</p> <p>一方、日高山脈襟裳国定公園に指定された地域及び日高山脈森林生態系保護地域が設定された地域については、豊富な森林生態系の維持・保存が期待されているほか、山岳、溪谷、森林景観、温泉等の観光資源に恵まれていることから、道東地方西部における観光地、登山やスキーなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として活用されている地域である</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容： 森林整備 更新 面積 70 ha <li style="padding-left: 200px;">保育 面積 3,836 ha <li style="padding-left: 100px;">路網整備 開設 延長 15.7 km <li style="padding-left: 100px;">改良 延長 0.8 km <p>・総事業費 1,876,597 千円（税抜き 1,787,236 千円）</p>		
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益 (B) 15,751,552 千円（平成20年度の評価時点： 5,312,671 千円※）</p> <p>総 費 用 (C) 4,386,688 千円（平成20年度の評価時点： 383,127 千円※）</p> <p>分析結果 (B/C) 3.59 （平成20年度の評価時点： 13.87 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>		

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や山地保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、広大な十勝平野において、畑作や酪農といった農業が展開されている。また、寒暖2海流が交錯する好漁場を有し、沿岸・沖合漁業といった水産業も盛んである。</p> <p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中で、そのうち林業就業者数は、平成17年度の479人から平成27年度には506人に増加しているものの、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(音更町)</p> <p>本町下士幌地区の防風林について、全体的に林齢も高くなってきていることから、今後も適切な更新等の施業を行っていただき、森林整備の継続を要望します。</p> <p>また、本町と芽室町にまたがる国見山はレク森として昭和52年に指定され、音更町はもとより芽室町や帯広市をはじめとした近隣住民の憩いの場として家族連れなどのハイキングや自然散策等に利用され長く親しまれてきたものと理解しております。</p> <p>しかし、近年は木の成長により展望台からの景色もほとんど見えないような状態となっており、間伐等の手入れも十分ではないため、一部コースを閉鎖し利用客も減少傾向にあると思われます。</p> <p>今後も自然観察教育林として利用者が快適に利用できるように森林整備の充実を要望します。</p>

おびひろ
(帯広市)

国有林は本市の水源地の上流部にあり、森林整備事業の実施により水源涵養機能など森林の持つ公益的機能の維持・増進を期待している。

今後も森林の持つ公益的機能が持続的に発揮できるよう適切な森林整備の実施をお願いしたい。

さらべつ
(更別村)

本村に存する国有林面積は広くありませんが、隣接する町村に広大な国有林があり、本村水源の上流部に位置していることから、その恩恵については広範に村内に影響があるものと考えており、適切に森林整備事業が実施されていることにつきまして十分に評価しているところであります。森林の持つ多面的機能については、とりわけ本村の基幹産業である農業や日常生活におきましても多大な影響があるものと考えられることから、今後も引き続き森林整備が着実に実施されるよう要望いたします。

しみず
(清水町)

本町の森林面積17,757haのうち、約64%を占める国有林において、森林整備だけでなく迅速な災害復旧に取り組まれたことは十分評価できるものである。

今後も、更なる森林整備が適切に行われることを期待する。

たいき
(大樹町)

国有林は町の水源地の上流部にあり、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の持つ多面的な機能の発揮と、良好な森林の形成がなされたことは高く評価できる。

今後も適切な森林整備の実施と、民有林事業者等の見本となるような管理をお願いするとともに、当町としては流木災害対策として、下流域の被害拡大を回避又はその程度を抑制することを基本とするスリットダムでの流木捕捉工対策を講じていただけるよう併せてお願いする。

なかさつない
(中札内村)

本村において、森林面積の大半を占める国有林の環境保全は重要であり、間伐を主体とした森林整備が実施されたことにより、森林の有する多面的機能が発揮されることを期待している。

今後も、適切な森林整備の実施を要望する。

ひろお
(広尾町)

森林整備事業により、森林の有する様々な機能の維持・促進がより図られたものと評価する。

また、本事業の着実な推進は、近年多発する異常気象による土砂流出等の防止にも繋がるため、今後の同事業の継続を期待する。

(芽室町)

町内の森林のうち、国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものであり、また、これにより森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。

平成28年の台風により甚大な被害を受けた箇所については、路網も含めて今後も適切な復旧、維持・管理の継続をお願いしたい。

森林管理局事業評価
技術検討会の意見

本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。

評価結果

・必要性 本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業や漁業に配慮した施策実施が求められている地域である。
また、急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策や木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 効率性・ 有効性 | <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業や漁業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p> |
|---|--|

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成21年度～平成25年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	とにかち 十勝森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 とにかちせいぶ ひがしたいせつ 十勝西部森林管理署東大 雪支署																
完了後経過年数	4年	管 理 主 体	十勝西部森林管理署東大 雪支署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の中央部から南東部に位置し、十勝総合振興局管内に属する4町に所在する国有林約150千haを対象としている。</p> <p>人工林面積は約9%にあたる約13千haで、そのうち間伐の対象となる林分が約8割近くとなっており、今後は主伐対象となる林分も増え、併せて更新面積の増加が見込まれることから、森林整備の重要性が高くなっている。</p> <p>本地域は本計画区の北西部に位置し、十勝川とその支流の音更川、然別川、佐幌川が南流しており、大雪山系の「東大雪」と呼ばれる区域から日高山系北側に連なる区域となっている。</p> <p>十勝川及びこれらの支流は、水力発電等各種用水の確保と洪水の防止を目的とする多くの大規模なダムを有し、そのダムの周辺及び上流域の国有林は、水源涵養の役割の発揮が期待されている。</p> <p>また、この地域は民有林も含め道内の主要な木材生産地帯であり、今後も木材の安定供給を通じ、地域産業の振興に寄与することが期待されている。</p> <p>一方、十勝川上流部には、十勝川源流部原生自然環境保全地域を擁し、この区域の多くは大雪山国立公園に指定されており、山岳、溪谷、森林景観、温泉等の観光資源に恵まれていることから、道東地方西部における観光地、登山やスキーなど森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として活用されている。</p> <p>さらに、大雪山森林生態系保護地域を設定しており、原生的な天然林の維持・保存が求められるとともに、その周辺地域についても、景観の保全等のため、森林生態系の維持が期待されている。この大雪山森林生態系保護地域と日高山脈森林生態系保護地域の間をつなぐ国有林については、大雪・日高緑の回廊としての管理経営を行うことが求められている地域である。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待に応えるとともに、地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施したものである。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>面積</td> <td>124 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>面積</td> <td>5,510 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設</td> <td>延長</td> <td>18.1 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良</td> <td>延長</td> <td>2.0 km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 1,816,975 千円（税抜き 1,730,453 千円）</p>			森林整備	更新	面積	124 ha		保育	面積	5,510 ha	路網整備	開設	延長	18.1 km		改良	延長	2.0 km
森林整備	更新	面積	124 ha																
	保育	面積	5,510 ha																
路網整備	開設	延長	18.1 km																
	改良	延長	2.0 km																
① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成30年度時点における費用便益分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>なお、事前評価で算出した総便益又は総費用と、完了後の評価で算出した総便益又は総費用との差異については、切捨間伐から搬出間伐に移行したことによる大幅な事業量の増加や人件費単価の上昇及び林野庁における統一的な算定方法の変更によるものである。</p> <p>総 便 益（B） 16,276,599 千円（平成20年度の評価時点：5,402,016 千円※） 総 費 用（C） 3,578,662 千円（平成20年度の評価時点：749,965 千円※） 分析結果（B/C） 4.55 （平成20年度の評価時点：7.20 ※）</p> <p>※平成20年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。</p>																		

<p>② 事業効果の発現状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・更新・保育によって森林が整備されたことにより、水源涵養や国土保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。 ・開設及び改良によって林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応した路網整備を行ったことで効率的な木材生産が図られた。 ・林業事業体に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。
<p>③ 事業により整備された施設の管理状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・整備された森林の林況は、継続して適切に管理されており、良好である。 ・整備された林道は、良好に維持・管理されている。
<p>④ 事業実施による環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備事業の実施により、水源涵養や山地保全などに応じた森林が形成され、それぞれの役割が果たされている。 ・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、森林資源の充実のほかレクリエーション・保健休養等の保健文化機能を充実させている。
<p>⑤ 社会経済情勢の変化</p>	<p>本地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、地域特性を生かし、広大な十勝平野において、麦類、豆類、馬鈴薯、甜菜等の畑作や乳牛、肉用牛の飼育が行われている酪農といった農業が展開されている。</p> <p>本地域における人口は、年々減少傾向にあり、そのうち林業就業者数も、平成17年度の215人から平成27年度には151人に減少しており、北海道内の傾向として他産業に比べ60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、さらには森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効果的な森林施業を推進する必要がある。</p>
<p>⑥ 今後の課題等</p>	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>さらに、丈夫で簡易な路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入を図り、低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要であると考えている。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(上士幌町) <small>かみしほろ</small></p> <p>森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。また、本事業の着実な推進は、木材価格の低迷や後継者不足等の問題に対して効果が見込まれるため、今後の同事業の継続を期待する。</p> <p>(鹿追町) <small>しかおい</small></p> <p>町内の森林のうち国有林を占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。また、森林整備事業により、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたものと評価する。今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p> <p>(士幌町) <small>しほろ</small></p> <p>士幌町内の森林のうち国有林の占める割合が低い本町においても、森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できるものである。今後も同事業の継続と国有林の整備を要望する。</p>

	<p>しんとく (新得町)</p> <p>本町の森林面積のうち、国有林が約9割を占めており、国有林の森林整備事業の実施により、水源涵養機能など森林の持つ多面的機能の維持・促進が図られたことは十分に評価する。</p> <p>今後も、多面的機能の発揮や災害の未然防止を図るため、国有林の適切な森林整備事業実施を期待する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <p>本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、地域の基幹産業である農業に配慮した施業実施が求められている地域である。</p> <p>また、急峻な地形もあることから、山地保全の役割が求められており、地球温暖化防止対策や木材の安定供給のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも事業の必要性が認められる。</p> ・ 効率性 <p>事業採択時に比べ、B/Cは低減したものの、現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良によって森林整備実施箇所へのアクセスが向上した他、森林整備においても現地の状況に応じた更新・保育作業を効率的に行うことによりコストの増加を抑えており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> ・ 有効性 <p>本事業の実施により、森林の有する多面的機能が発揮され、引き続きその効果が発現されるものと見込まれる。</p> <p>また、これらの直接的な効果のほか、地域の基幹産業である農業に対しても、山地保全や水質浄化等の機能の向上を通じてその振興に寄与しており、事業の有効性が認められる。</p>